

# 交通安全

## ふたつの灯

(財)交通事故総合分析センターによると、道路交通法の一部改正による悪質違反の厳罰化や安全教育の普及など、官民挙げての交通安全対策により、交通事故死者数は、年々減少しています。しかし、

歩行中の死者数の減少率は低く、特に65歳以上の「高齢歩行者」の死者数の割合が高くなっています。平成21年中の高齢歩行者の死者数は1,202人で、全死者数(4,914人)の約25%、4人に1人が高齢歩行者という現状です。

### 年齢層別・交通手段別死者数(平成21年)

| 年齢層別   | 自動車乗車中 | 二輪車乗車中 | 原付乗車中 | 自転車乗車中 | 歩行中   | その他 | 合計    |
|--------|--------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|
| 15歳以下  | 28     | 1      | 5     | 36     | 41    | 0   | 111   |
| 16~24歳 | 222    | 163    | 75    | 29     | 30    | 0   | 519   |
| 25~29歳 | 91     | 53     | 7     | 10     | 22    | 1   | 184   |
| 30~39歳 | 153    | 116    | 21    | 25     | 57    | 0   | 372   |
| 40~49歳 | 155    | 94     | 21    | 30     | 81    | 1   | 382   |
| 50~59歳 | 211    | 39     | 42    | 71     | 159   | 1   | 523   |
| 60~64歳 | 148    | 16     | 31    | 49     | 125   | 2   | 371   |
| 65歳以上  | 592    | 45     | 157   | 445    | 1,202 | 11  | 2,452 |
| 合計     | 1,600  | 527    | 359   | 695    | 1,717 | 16  | 4,914 |

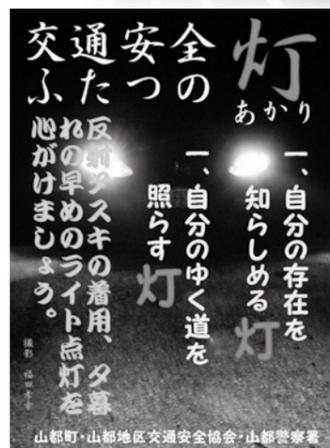
(財)交通事故総合分析センター資料より

### ドライバーはここに注意!

- ①夜間に道路を横断中の高齢歩行者と衝突する死亡事故が多いことを認識する。
- ②夕暮れ時は早めにヘッドライトを点灯する。
- ③走行中は常に視野を広く保ち、特に道路の右方向から横断してくる歩行者の発見に努める。

### 歩行者も注意しましょう!(特に高齢歩行者)

- ①夜間は反射材を着用するか、夜間でも目立つ服装をする。
- ②横断するときはルールを守る。
  - ・横断前に左右の確認をし、車が近づいているときは横断を開始しない。
  - ・横断の途中で再度安全確認し、危険なときは横断を中止し、引き返す。
  - ・横断歩道が近くにあるときは、必ず横断歩道を渡る。
  - ・横断が禁止されている場所では横断しない。
  - ・道路を斜めに横断しない。



交通安全協会・山都町・山都警察署の啓発ポスター

## 町長室から

甲斐 利幸

最近、総務省の課長と懇談する機会がありました。そのなかで、選挙制度について、私の主張を述べました。国会議員選挙における一票の格差が選挙区において大きすぎると違憲であるとの判決について異議があるとの主張です。選挙区に、一人枠を設け、その後比例による定数を設定することも改正すべきという意見にも納得できません。私は地方に住み、広大な国土を、都市住民の何倍も護っているし、地方における投票率は、国政選挙においても、80%近くにもなる。また、山の手入れや農林業は、緑をまもり、地球温暖化を防ぐことにも繋がっている。集落における道路の道草切りや水路の管理などは共同で行われ、国土の荒廃を防ぐことにも繋がっている。水田の持つダム機能も、識者から公益的機能として高く評価されています。こうした地方の存在を否定するような、人口だけによる国会議員の定数論議には、地方を見捨

てる暴論であると考えます。現在の選挙制度は、棄権を想定していません。地方では通俗的な政治を期待して投票するが、都市ではそれを必要としないし、選挙そのものに関心がありません。従って投票に行かないのです。低い投票率の下での選挙が、民主的な政治を進めるとは期待できません。選挙制度のアクレス腱は、立候補すれば誰でも当選する可能性があることにもあります。大阪府知事と市長の同時選挙は、大阪維新の会が大阪民の気持ちを捉え完勝しました。今、全国で、選挙に対する選挙民の意識の揺らぎが見られます。この広報誌がみなさまに届く頃は、年の瀬も押し迫り、新年を迎える準備で忙しいことと思います。夏季野菜も2年続けて生産が順調だったようです。新年がみなさまにとって多き年でありますように、心からお祈り申し上げます。町政においても、引き続き、力強いご指導をお願いします

## 自然のなかで豊かな育ちをさせたい

その②

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

山都町清和の井無田地区では、地域活動として井無田高原キャンプ場での自然観察会を実施されている。今年で二回目となる。昨年に続き、今年も観察会の講師の依頼があり、観察指導を行った。昨年は、トンボを中心に観察したところ、十種類以上のトンボが確認できた。今年は、すべての生きものたちを観察の対象にした。

9月19日、地域の子どもたちが保護者と共に集まった。山都町は九州内で一番と言われるほど豊かな生態系が残されており、この日もわずか一時間ほどの間に、驚くほどたくさんの生きものを子どもたちが見つけた。中には、網の中にシマヘビを入れて持ってきた子どもがいて、みんなの注目を浴びた。さらにキャンプ場の管理人さんがタガメを見せてくれた。

バッタ、チョウ、トンボ、クモ、カマキリ、カエル、ヘビなど三十種類を越えた。それぞれの生きものを観察ケースに入れて並べると、「食物連鎖」の関係がみごとに出来上がった。地域の豊かな自然の中で、感性豊かに成長している子どもたちの姿があった。

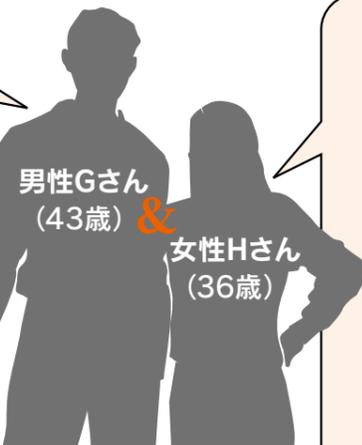


### ☆カッパル紹介☆

現在、お付き合い中のお二人を紹介しします。

- ① お互いの第一印象は?
- ② 現在の心境は?
- ③ まだ参加していない独身者(男性・女性)へひと言

① 笑顔がかわいい。  
② 幸せです。出逢えたことに感謝しています。ありがとうございます。  
③ どこに出逢いがあるかわからないなあと思つたので、一度参加されてみてはどうですか。



交際期間: 4ヶ月

- ① 少し怖いかなあ。
- ② 本当に良かった、感謝です。
- ③ 勇気をもって参加してみてください。出逢いがあると思います。

### ☆11月交流会紹介☆

今回は、40歳代を対象とした交流会を実施しました。男女合わせて13名の参加者のもと、熊本市にて実施しました。

女性陣の初参加者が多かったため、まずはお互いを知っていたらこうと、2時間ほどフリータイムにしました。この時間は、第一印象に大きく関わってくるため、参加者全員が真剣な様子。会話が弾んでいました。その後、同じ会場においてランチバイキングをいただきました。ランチ後、ボウリング大会を行い、ペアで優勝したチームの女性に景品を渡し、喜んでいただいたところで終了としました。

多くの交流会を重ねてきて、色々と参加者の声をいただきます。一番良かったと言われるのが、参加者同士のゆつくりとした会話の時間を設けた事です。交流会の内容については、試行錯誤していますが、今回のようにシンプルで、誰にも邪魔されない参加者だけの時間を設けることが一番重要だと実感しています。

### ●お問い合わせ先

山都町役場 浜町事務所 総務課(成瀬・吉田)  
【専用電話】090-0505-0500  
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp  
【専用アドレス携帯】you\_and\_you@docomo.ne.jp